

附属支部は、附属小学校・附属中学校でそれぞれ情報教育の研究及び研修を行っている。ここでは、主に附属中学校の取組を紹介する。

1 教職員研修について

本校では、携帯情報端末（iPad）が全教職員に配付されている。また、生徒が授業で使うことができる携帯情報端末も 2010 年度から導入され、授業での効果的な活用を模索している。それに伴い、教職員を対象に次のような研修を実施した。

- (1) 教室用 PC (Mac mini) の使用方法について
- (2) ネットワーク接続(校内 LAN、無線 LAN、メールの活用等)について
- (3) iPad の使用方法について

上記の研修は、本校の技術科教員や情報教育担当教員が中心となって行った。そして、これらの研修を基に、各教科の授業での携帯情報端末の効果的な活用の仕方について、大学の教授を招いて次のような研修を行った。

- (4) 教材用アプリの開発について
- (5) 教材用アプリの授業での効果的な活用について
 - 生徒に育成すべき資質・能力の検討
 - 大型モニターへの情報送信方法
 - 教師用端末から生徒用端末へ情報の一斉送信や生徒からの返信方法など

2 授業での携帯情報端末（iPad）の活用について

各教科の授業において、積極的に携帯情報端末を活用している。今年度も全ての教科と学級活動、総合的な学習の時間で活用した。ここでは、保健体育科での活用事例を紹介する。

- (1) 体育理論領域での活用

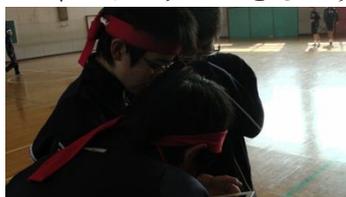
運動の効果について、「身体的効果」「精神的効果」「社会的効果」などの項目別グループをつくり、それぞれのグループで調べ学習を行わせ、情報交換を行わせた。その際に、iPad を用いてインターネットから情報を収集させ、直感的な意見ではなく、科学的、論理的な根拠に裏付けされた意見となるように情報収集をさせた。



情報収集

- (2) 器械運動領域での活用

跳び箱運動において、模範演技の動画コンテンツを作成し、活動グループごとの iPad で自由に閲覧できるようにした。また、グループ内で生徒の演技をお互いに動画撮影し、すぐにフィードバックできるようにした。



模範演技を閲覧



友達の試技を撮影



自分の試技をフィードバック

3 今後の課題

- (1) iPad だけでなく、各教科等における ICT 活用の更なる研究
- (2) 教材用アプリの開発と共有
- (3) 情報モラルやセキュリティに関する研修の充実